

SSI ニュースレター

2023 年度第 1 号

1. 2022 年度第 5 回理事会について

去る 6 月 3 日 (土) に 2020 年度第 5 回理事会が開催されました。入会者 (正会員 10 名, 学生会員 8 名), 2022 年度監査報告, 2023 年度事業計画と予算, 研究部会制度等について審議しました。

2. 2023 年度社員総会について

同日 2023 年度定時社員総会が開催され, 2022 年度事業報告・決算報告・監査報告, 2023 年度事業計画・予算が承認されました。なお, 事業報告・決算報告・事業計画と予算案につきましては, 巻末に資料として掲示いたします。また, 西垣通氏(東京大学名誉教授)の名誉会員が承認されました。また, 2022 年度の理事・監事は任期満了のため, 本社員総会をもって退任となり, 新理事会がスタートいたしました。

3. 2023 年度第一回理事会について

同日 2023 年度第 1 回理事会がオンラインで開催され, 以下の役員体制(敬称略)となりました。

木村 忠正	立教大学	理事・代表理事・会長
國領 二郎	慶応義塾大学	理事・副会長・渉外国際・コンソ理事
坂田 邦子	東北大学	理事・副会長・研究活動
岡田 勇	創価大学	理事・総務
伊藤 賢一	群馬大学	理事・学会誌編集
猪原 健弘	東京工業大学	理事・表彰・横幹連合理事
小笠原 盛浩	東洋大学	理事・若手支援
服部 哲	駒澤大学	理事・広報ネットワーク
山本 佳世子	電気通信大学	理事・関東・GEAHSS 担当
小川 明子	名古屋大学	理事・中部
本田 正美	関東学院大学	理事・研究活動(副)
河井 孝仁	東海大学	理事・学会誌編集(副)
関谷 直也	東京大学	理事・表彰(副)・コンソ評議員
西田 亮介	東京工業大学	理事・若手支援(副)
中村 雅子	東京都市大学	理事・広報ネットワーク(副)

吉田 純	京都大学	監事
記虎 優子	同志社女子大学	監事
後藤 晶	明治大学	事務局長
大山口 菜都美	東京理科大学	副事務局長
北村 順生	立命館大学	記念事業
大内 斎之	新潟経営大学	東北
諏訪 博彦	奈良先端大学	関西
中俣 保志	香川短期大学	中国四国
河又 貴洋	長崎県立大学	九州沖縄・コンソ評議員

4. 今年度の研究部会新設・継続申請は 8 月

今年度も研究部会の新設・継続事業を行います。研究部会とは、複数の機関に所属する会員 3 名以上が集まれば、既存の定例研究会や支部活動とは別に自由に組織いただけるもので、1 年間の活動に対して学会から最大 5 万円の支給金が支払われます。

申請要綱などは 8 月にアナウンスされます。みなさまの研究活動にぜひご活用ください。

5. 2023 年度学会大会について

2023 年度社会情報学会大会は、2023 年 9 月 16 日（土）・17 日（日）に立教大学（池袋キャンパス）で開催されることとなりました。今回は、会場対面を基本とし、発表も原則として、会場対面となります。学会大会ウェブサイトも開設されました。

<https://award-con.com/ssi2023/>

6. 学会賞受賞者のご紹介

学会賞の受賞が決定されたみなさんをご紹介します(敬称略)。

- ・学会功労賞 西垣通
- ・優秀文献賞 渡部春佳
- ・論文奨励賞 西川順子
- ・論文奨励賞 上田一紀
- ・大学院学位論文奨励賞（修士） 藤野朝咲

7. 若手研究助成の受給者による研究成果の報告

若手研究助成制度の受給者のうち、研究が終了した 2 名の会員の研究成果報告をご紹介します。

久保田彩乃会員

「3.11 後の福島における“つながり”言説に関する研究」

「つながり」から派生する言葉を福島民報新聞から 10 年分検索し、数による変化を読み取った。内容の分析についてはまだ終了しておらず、研究中。2023 年中に社会情報学会に論文投稿を予定。

石橋真帆会員

「新型コロナウイルス・パンデミックにおける、リスク認知・差別・インフォデミックに関する現実感とメディア利用の関連性」

本研究の目的は、COVID-19 に関するメディア報道の内容分析によって、社会混乱時のメディア効果の社会心理的検討を行うことである。分析に当たり、株式会社プロジェクトより、2020 年 1 月 1 日から 2021 年 8 月 31 日に東京都内で放送された「新型コロナウイルス or 新型コロナウイルス or 新型コロナ or COVID-19 or コロナ感染 or コロナ禍」をキーワードとして含む、テレビ放送データ（メタデータ）164,518 件（24,298 番組）の提供を受けた。以下の報告では放送内容の概要を示す。まず、新規陽性者の推移と COVID-19 に関連する放送番組数の変化については、初期において、2020 年 1 月から 2 月にかけて急激に番組数が増加し、4 月頃にピークを迎えていたことが分かった。その後、ゆるやかに番組数は減少するが、2021 年 8 月頃まで大きな変化がなく一定の番組数のまま推移していた。また、収集した放送内容データ（番組の重複あり）について、放送されたテレビ局、ジャンル、時間帯ごとに占める割合を分析した。結果として、テレビ局では TBS、日本テレビ、テレビ朝日、フジテレビ、NHK の順に大きな割合を占め、テレビ東京が占める割合は前述の 5 放送局と比較して小さかった。ジャンルについては、「社会」が半数程度を占め、次に「政治・国際」が大きな割合を占めていた。なお、全体の 80%程度はこれら 2 つのジャンルによって占められていた。時間帯については、終了時刻が午前 9 時以前か、午前 9 時から午後 5 時の間か、午後 5 時以降かによって分類した。結果として、午後 5 時以降終了の番組がやや大きな割合を占めていた。本研究については、より踏み込んだ分析を付加した上で、今後本学会の年次大会あるいは学会誌にて報告予定である。

一般社団法人社会情報学会
総務委員会

以下・巻末資料

2022 年度事業報告	pp.5-10
2023 年度事業計画	pp.11-12
2022 年度収支報告 (一般会計)	p.13
2022 年度収支報告 (特別会計)	p.14
2023 年度予算案	p.15

2022 年度事業報告

(一般社団法人 社会情報学会 2023 年度社員総会 資料)

1. 学会大会

- 日程 : 2022 年 9 月 2 日(金)、3 日(土)
- 大会テーマ : 「記憶と記録の社会情報学」
- 開催方式 : 東北大学会場対面と Zoom オンラインのハイブリッド開催
- 懇親会 : 新型コロナ再拡大を受け中止
- 基調講演
 - 渡邊英徳 (東京大学情報学環教授)
 - 「災害・戦災をテーマとした多元的デジタルアーカイブズ・シリーズ」
- シンポジウム
 - 「共創・共感・共苦のメディアとしての社会情報学」
 - パネリスト
 - ◇ 河原理子 (ジャーナリスト、東京大学大学院情報学環客員教授)
 - ◇ 千錫烈 (関東学院大学社会学部教授)
 - ◇ 竹之内禎
 - 司会
 - ◇ 渡辺祥子 (仙台市在住・フリーアナウンサー、朗読家、情報誌『りらく』編集長)
 - コメンテーター
 - ◇ 木村忠正

	自由論題	WS	連携報告	セッション数	参加者数
2022	38	7	2	19	184
2021	27	6	1	14	165
2020	30	6	1	16	139
2019	43	5	1	17	

2. 研究会等開催 (日付順)

(2-1) 2022 年 6 月基調講演・シンポジウム

- 竹之内先生のご尽力により、社会情報学会・情報メディア学会の共催、合同企画セッションとして、基調講演・シンポジウムを実施。
- 2022 年 6 月 25 日 (土) 10 時 30 分～15 時 (新型コロナ以前は、社員総会の日に行っていたが、新型コロナの影響でオンラインとなったため、社員総会 (6 月 4 日) とは異なる日)
- 午前、西垣通先生 (東京大学名誉教授、元情報メディア学会会長、元社会情報学会理

事) による「文系情報学の統合」と題する基調講演、午後は、「社会情報と情報メディア ～図書館情報学を架橋に～」と題して、河井孝仁氏 (東海大学)、長谷川幸代氏 (跡見学園女子大学)、西田洋平氏 (東海大学) の各先生をパネリスト、後藤嘉宏氏 (筑波大学) をコメンテーター、河島茂生氏 (青山学院大学) を司会として、シンポジウムを開催。

- 社会情報学、情報メディア学、図書館情報学の学術領域を俯瞰し、現在の学術調査研究の実際や社会の在り方について、「情報」「メディア」「地域」(社会)をキーワードとした問題提起とディスカッションを行った。
- 130 人以上の方のご参加をいただき、活発な議論が交わされ、有意義な行事となった。

(2-2) 2022 年度定例研究会 (数理部門)

- 第 29 回社会情報システム学シンポジウム <http://sig-iss.work/>
- 例年通り、小川委員 (数理部門) が担当され、2023 年 1 月 26 日 (木) - 27 日 (金) に開催
- 基調講演テーマ： 協力の進化を解明する実験社会科学の今と未来
 - ✓ 基調講演 1 「集団内協力の進化」(三船恒裕：高知工科大学)
 - ✓ 基調講演 2 「実験社会科学のこれから」(後藤晶：明治大学)
- 一般発表：10 件
- 会場： チャレンジ石垣島 (沖縄県石垣市登野城 5 1 0) (Zoom とのハイブリット開催)
- 参加費：登壇者 3,000 円、聴講者無料
- 聴講者：50 名

(2-3) 2022 年度定例研究会 (実証・政策部門)

- 定例研究会「メディア社会学の現在」
 - 2023 年 3 月 6 日 (月) 16 時～18 時 (Zoom オンライン)
 - ◇ 井川充雄 (立教大学) 「「メディア社会学」の系譜と課題」
 - ◇ 河島茂生 (青山学院大学) 「メディアとしての先端テクノロジーと倫理形成」
 - ◇ 池上賢 (拓殖大学) 「多様化するメディア社会学の調査法と教育実践を考える」
 - ◇ 木村忠正 (立教大学) 「ソーシャルデータと質的研究」
 - 46 名参加

(2-4) 修士論文報告会 (若手研究支援部門)

● 修士論文報告会

- 2023 年 3 月 25 日 13:00~17:30
- 昨年度、日本メディア学会 (旧日本マス・コミュニケーション学会) との共催で、本学会としては初めて実施した「修士論文報告会」を今年度も実施。
- 若手研究支援部門・飯田委員、澁谷委員が中心となり準備、実施。
 - 17 名発表 (22 年 16 名)
 - 69 名参加

3. 機関誌

和文誌『社会情報学』を 3 号 (第 11 巻 1 号、第 11 巻 2 号、第 11 巻 3 号) を発行した。
英文誌『Journal of Socio-Informatics』を 1 号 (Vol.15, No.1) を発行した。

4. 表彰

以下の各賞を授与した。

- | | |
|--------------|---|
| 学会功労賞 | 須藤 修 (中央大学教授)
橋元 良明 (東京女子大学教授) |
| 学会大会功労賞 | 2022 年社会情報学会 (SSI) 学会大会実行委員会
[代表: 坂田 邦子 委員長 (東北大学)] |
| 優秀文献賞 | 中野 邦彦・本田 正美 『地域研究ハンドブック』 勁草書房 |
| 優秀論文賞 | 記虎 優子 (同志社女子大学)
企業の透明性志向が株主総会開催日の分散に与える影響
(『社会情報学』第 10 巻 2 号) |
| 論文奨励賞 | Seval Yurtcicek OZAYDIN (Tokyo Institute of Technology), Ryosuke NISHIDA
(Tokyo Institute of Technology)
Fragmentation and Dynamics of Echo Chambers of Turkish Political Youth
Groups on Twitter (Journal of Socio-Informatics, Vol.14, No.1) |
| 大学院学位論文賞・奨励賞 | 劉 兆媛 (東京大学)
Evidence-Based Policy Making in the Big Data Era (博士論文) |
| 研究発表優秀賞 | 西川 順子 (東京工業大学) 各国駐日大使館の SNS におけるプレゼンス:
156 ヲ国のアカウント運用に着目したデジタル外交の比較分析現代社会
におけるニヒリズムとしての「さとり」 |
| 新進研究賞 | 中野 邦彦 (武庫川女子大学) |

5. 若手支援・研究支援

2021 年度中申請の若手研究助成は 6 件及び追加 1 件について研究助成を行い、2022 年度申請の若手研究助成は 2 件研究助成を行った。若手旅費支援については 1 件助成を行った。2022 年度の研究部会は以下の 2 部会となった。

デジタル社会とウェルビーイング研究部会（主査 齋藤長行 東京国際工科専門職大学）
データ活用の社会実装研究部会（主査 岡田忠 鹿島情報技術研究所）

6. 広報活動

学会ホームページ（Facebook を含む）の様々な更新
会員メーリングリストを通じたメール配信(6 月から 3 月までの配信メールは 80)
学会ホームページ（サイト）を CMS へ移行作業開始
学会ニュースレターの発行（4 号）
学会サイトの移行が 2023 年度になったので、予算執行を一年後ろ倒しとする

7. 総会

2022 年 6 月 4 日（土）に社員総会をオンライン形式で開催し、各種報告のほか、以下の付議事項を審議した。

付議事項	結果
第1号議案：2021年度事業報告の承認に関する件	承認
第2号議案：2021年度収支決算報告の承認に関する件	承認
第3号議案：2022年度事業計画の承認に関する件	承認
第4号議案：2022年度収支予算の承認に関する件	承認
第5号議案：名誉会員の承認に関する件	承認

8. 理事会

第 1 回理事会(online) 6 月 4 日 理事 15 名、監事 2 名、オブザーバー 2 名が出席
第 2 回理事会(hybrid) 9 月 2 日 理事 13 名、監事 2 名、オブザーバー 2 名が出席
第 3 回理事会(online) 12 月 17 日 理事 11 名、監事 2 名、オブザーバー 1 名が出席
第 4 回理事会(online) 3 月 18 日 理事 14 名、監事 2 名、オブザーバー 2 名が出席

9. 委員会

本学会が目的とする事業を達成するため下記委員会において、学会大会、シンポジウム、研究会等の開催、機関誌の発行、表彰、規則の改定、他機関との連携、社会情報に関する情報発信、その他について検討した。

総務委員会（岡田勇委員長） 年 4 回開催（オンライン）
研究活動委員会（木村忠正委員長） 年 4 回開催（オンライン 3 回、メール 1 回）

編集委員会 (北村順生委員長) 年 2 回開催 (オンライン)

表彰委員会 (岩井淳委員長) 年 7 回開催 (オンライン 5 回、メール審議 2 回)

10. 支部

<東北支部 (嶋崎真仁支部長) >

社会情報学会(SSI)東北支部 令和 4 年度支部総会

日時: 令和 5 年 (2023 年) 2 月 18 日 (土) 13 時 00 分~13 時 20 分

場所: カレッジプラザ(秋田市中通 2 丁目 1-51 明德館ビル 2 階)

※遠隔とのハイブリッド開催

社会情報学会(SSI)東北支部・日本設備管理学会(SOPE)東北支部 合同研究発表会

日時: 令和 5 年 (2023 年) 2 月 18 日 (土) 13 時 30 分~17 時 00 分

場所: カレッジプラザ(秋田市中通 2 丁目 1-51 明德館ビル 2 階)

発表件数 10 件

※遠隔とのハイブリッド開催

<関東支部 (山本佳世子支部長) >

関東支部では、2023 年 3 月 13 日 (月) 13:00-16:30 にオンライン (ZOOM) により研究発表会・研究会を開催いたしました。研究発表会の参加者は 15 名 (うち学会員は 13 名) で、4 件の研究発表 (うち会員は 3 件、非会員は 1 件) がありました。オンラインでの開催であったせいか、全国から発表者、参加者がおり、とても充実した研究成果の発表、議論が行われました。また、研究会の参加者は 12 名 (うち学会員は 11 名) で、佐々木淳先生 (岩手県立大学特命教授) に「岩手県における地域情報化の課題と展望」と題するご講演をいただきました。こちらにも全国からの参加者がおり、質疑応答ではたいへん活発な議論が行われました。

<中部支部 (小川明子支部長) >

第 13 回社会情報学会中部支部研究会を芸術科学会、情報文化学会共催で行った。

日時 12 月 24 日土曜日 9:20-17:35

場所 椛山女学園大学文化情報学部/オンライン

発表数 25 件

中部支部の活動については以下のサイトにも掲載している: <http://ssicj.main.jp/wp/>

<関西支部 (北村順生支部長) >

「社会システムと情報技術研究ウィーク in ルスツ 2023」

2023 年 3 月 9 日 (木) ~12 日 (日) 複数団体との共同開催

現地参加者：67 名，オンライン参加者：31 名，参加者合計：98 名

<中国・四国支部（中俣保志支部長）>

2022 年度社会情報学会中国・四国支部第 1 回研究発表会

日 時:2022 年 12 月 17 日(土) 13:00~17:40

場 所:島根大学(松江キャンパス) 法文学部棟 2 階多目的室(207 室)およびオンライン

共催：島根大学（発表者：発表 10 件 参加アクセス数：最大 28）

2022 年度社会情報学会中国・四国支部第 2 回研究発表会

日 時：2023 年 3 月 19 日(日) 13:30~16:15

場 所：香川短期大学 3 階コンピュータ実習室 3 よびオンライン

（発表者：発表 6 件 参加アクセス数：最大 20）

<九州・沖縄支部（河又貴洋支部長）>

九州・沖縄支部地域社会情報学研究会「島嶼社会情報学」研究会 2022

テーマ： Workcation から考える島嶼社会情報学

～Mobility がもたらす職住革命～

日 時 2022 年 11 月 19 日（土）13:00~17:30

場 所 [五島市会場] Knit. 福江島のシェアキッチン/コワーキングスペース

[新上五島町会場] 似首ミーピングポイント NMP

共 催 長崎県立大学・学長プロジェクト「離島地域文化の利活用を支える行政計画」

後 援 五島市、新上五島町（オンライン 26 名+オフライン 5 名、内会員 6 名）

1 1. 選挙

選挙管理委員会（岩井淳委員長）を組織し、WEB 投票方式で評議員選挙・役員候補者選挙、郵送方式で会長選挙を実施し、それぞれ 30 名の評議員・10 名の役員候補者・1 名の会長候補と 1 名の副会長候補を選出した。

1 2. 会員の現況

	2021年度末現在	2022年度末現在	増減
正会員	495	503	+8
学生会員	86	91	+5
名誉会員	8	10	+2
団体・賛助会員	4	3	-1

以上

2023 年度事業計画 (一般社団法人 社会情報学会 2023 年度社員総会 資料)

[目的]

社会情報学とその応用についての研究成果の公表、知識の交換、内外の関連学会との連携協力等を行うことにより、社会情報学の進歩と普及をはかり、学術の振興と社会の発展に寄与することを目的とする。

[事業]

上記の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 学会大会、シンポジウム、講演会並びに研究会等の開催
- 二 機関誌、研究報告書、その他の刊行物の発行
- 三 その他必要と認められる事業

[個別の事業]

1. 学会大会

日時：2023 年 9 月 16 日（土）、17 日（日）

開催校：立教大学池袋キャンパス（開催形式は未定）

実行委員長：木村忠正先生（立教大学）

2. 機関誌（編集委員会）

和文誌『社会情報学』を、年 3 回（12 巻 1 号：2023 年 6 月、12 巻 2 号：2023 年 12 月、13 巻 3 号：2024 年 3 月）発行する。英文誌『Journal of Socio-Informatics』を年 1 回（Vol.16 No.1：2023 年 9 月）発行する。

3. 10 周年記念事業（記念事業実行委員会：北村順生委員長）

2012 年に本会が設立してから開催されてきた学会大会の発表原稿をアーカイブ化し、J-stage ならびに学会 HP にて公開する事業を行う。

4. 委員会活動

<研究活動委員会>

2022 年度までと同様、理論部門、実証・政策部門、数理部門、若手研究支援部門の 4 部門体制のもと、定例研究会、講演会・シンポジウム、修論報告会などの活動を展開していく予定である。また、研究活動においては、SSI 各支部、他学術組織との連携、交流も積極的に模索し、学会員の研究に資することはもとより、若手研究者に活動の機会を提供し、本学会への新たな研究者の参加を促す活動を展開したい。

<表彰委員会>

2022 年度と同様に各種学会賞の表彰審査と表彰式の運営を行う。

<若手支援委員会>

例年通り若手研究助成を行うと共に、育志賞等の応募に際しては、当委員会にて審査する。若手旅費支援については、当面の間休止する。

<広報ネットワーク委員会>

今年度は学会サイトの刷新を行う。

5. 支部活動

<東北支部> 昨年と同様に研究発表会、研究会を開催する。

<関東支部> 昨年と同様に研究発表会、研究会を開催する。

<九州・沖縄支部>

●学会大会（開催校：立教大学／ハイブリッド開催）でのワークショップ企画・運営(2023 年 9 月)、テーマ：『情報通信白書』から読む社会情報学（仮）

●「地域社会情報学」研究会【島嶼編】の開催（2023 年、時期未定・場所候補：五島列島：小値賀町＋佐世保市宇久島）、テーマ：シティプロモーションと島嶼社会情報学（仮題）〔中国・四国支部との共同企画〕

●「ICT 経済研究会」第 7 回の開催（2022 年 11 月下旬、於九州大学）

●支部総会＋若手研究会の開催（2023 年 2 月中旬、於福岡）

6. 総会・理事会・委員会

2023 年 6 月 3 日(土)に定時社員総会を開催し、2022 年度決算、2023 年度予算、他の議案について審議する。理事会は年 4 回以上開催する。委員会を随時開催し、学会大会、シンポジウム、研究会等の開催、機関誌の発行、社会情報に関する情報発信、調査研究、提言作成、その他について検討する。

7. 選挙

今年度は実施せず。

以上

一般社団法人社会情報学会 一般会計決算書

自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日 (単位: 円)

大科目	中科目	小科目	決算額	予算金額	増減金額	備考
I 収入の部						
1 会費収入						
	正会員		3,960,000	4,000,000	-40,000	
	正会員(減額)		54,000	150,000	-96,000	
	学生会員		57,000	50,000	7,000	
	団体会員		200,000	200,000	0	
	賛助会員		0	0	0	
	過年度会費		274,000	300,000	-26,000	
2 事業収入						
	学会大会参加費収入		602,845	0	602,845	
3 雑収入						
	受取利息		120	0	120	
	著作権収入		103,800	90,000	13,800	
	その他雑収入		0	0	0	
当期収入合計 A			5,251,765	4,790,000	461,765	
II 支出の部						
1 事業費						
	和文学会誌発行費		421,300	600,000	-178,700	年2回発刊、学会誌XML化費用
	英文学会誌発行費		63,360	100,000	-36,640	年1回発刊、翻訳
	学会誌査読料		272,832	400,000	-127,168	和文誌、英文誌査読料
	会員名簿作成費		0	0	0	
	研究会会費		100,000	400,000	-300,000	
	委員会運営費		185,685	1,550,000	-1,364,315	
		研究活動委員会	55,685	500,000	-444,315	謝金、旅費、研究会アルバイト
		学会誌編集委員会	0	0	0	旅費
		総務委員会	0	0	0	0 会議用スピーカーフォン、旅費
		表彰委員会	130,000	250,000	-120,000	学会賞副賞、審査謝金
		国際委員会	0	0	0	
		広報ネットワーク委員会	0	800,000	-800,000	
	支部助成費		80,000	255,000	-175,000	
		北海道支部	0	50,000	-50,000	
		関東支部	30,000	30,000	0	
		中部支部	25,000	25,000	0	
		関西支部	20,000	50,000	-30,000	
		中国四国支部	5,000	50,000	-45,000	
		九州沖縄支部	0	50,000	-50,000	
	関連学会費		70,000	100,000	-30,000	横幹連合、社会学系マソナリズム他
	学会大会補助費		1,904,500	1,500,000	404,500	
	シンポジウム開催費		350,359	100,000	250,359	社会情報システム学シンポジウム共催金他
	事業費合計		3,448,036	5,005,000	-1,731,964	
2 管理費						
	会議費、慶弔費		0	10,000	-10,000	会場費他
	旅費交通費		0	300,000	-300,000	理事会、総会交通費
	通信費		38,707	150,000	-111,293	サーバー、NTT、切手、メール便
	消耗品費		734	10,000	-9,266	封筒、用紙、のし袋他
	業務委託費		1,774,291	1,740,000	34,291	
		編集作業委託	259,600	240,000	19,600	アトラス
		事務作業委託	1,291,950	1,250,000	41,950	勝美印刷
		経理作業委託	222,741	250,000	-27,259	精方会計士
	支払手数料		20,586	30,000	-9,414	振込手数料、旧特別会計振込手数料含む
	選挙費用		346,500	450,000	-103,500	コピー、旅費、封筒、後納料金
	法人税等・租税公課		70,000	100,000	-30,000	都税(均等割)、法人登記費用、印紙税
	新聞図書費		8,383	10,000	-1,617	学術の動向購読料
	総会費用		0	50,000	-50,000	謝金、弁当代、アルバイト代
	管理費合計		2,259,201	2,850,000	-590,799	
3 特別勘定繰入						
			0	0	0	
4 予備費						
	予備費支出		0	0	0	
当期支出合計 B			5,707,237	7,855,000	-2,322,763	
当期収支差額 C = A - B			-455,472	-3,065,000	2,609,528	
前期繰越収支差額 D			20,394,424	20,394,424	0	
特別会計から繰入 E			465,854	-309,334	775,188	
次期繰越収支差額 C + D + E			20,404,806	17,020,090	3,384,716	

一般社団法人社会情報学会 特別会計決算書

自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日 (単位: 円)

大科目	中科目	決算額	予算金額	増減金額	備考
I 収入の部					
1 雑収入					
	特別会計繰入	0	309,334	-309,334	
	受取利息	14	0	14	
当期収入合計	A	14	309,334	-309,320	
II 支出の部					
1 事業費					
	大会旅費支援	184,826	400,000	-215,174	
	海外旅費支援	0	50,000	-50,000	
	研究助成制度	1,100,000	1,600,000	-500,000	
	事業費合計	1,284,826	2,050,000	-765,174	
2 管理費				0	
	振込手数料	0	10,000	-10,000	
	管理費合計	0	10,000	-10,000	
当期支出合計	B	1,284,826	2,060,000	-775,174	
当期収支差額	C = A - B	-1,284,812	-1,750,666	465,854	
前期繰越収支差額	D	1,750,666	1,750,666	0	
当期一般会計繰入	E	-465,854	0	-465,854	
次期繰越収支差額	C + D + E	0	0	0	

一般社団法人社会情報学会 2023 年度予算

自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日 (単位: 円)

		2023年度予算	増減金額	2022年度決算	
I 収入の部					
1 会費収入					
	正会員	4,000,000	40,000	3,960,000	
	正会員 (減額)	50,000	-4,000	54,000	
	学生会員	50,000	-7,000	57,000	
	団体会員	200,000	0	200,000	
	過年度分	300,000	26,000	274,000	
2 事業収入					
	学会大会余剰金	0	-602,845	602,845	
3 雑収入					
	受取利息	0	-120	120	
	著作権収入	90,000	-13,800	103,800	
当期収入合計		4,690,000	-561,765	5,251,765	
II 支出の部					
1 事業費					
	和文学会誌発行費	600,000	178,700	421,300	
	英文学会誌発行費	100,000	36,640	63,360	
	学会誌査読料	350,000	77,168	272,832	
	学会大会補助費	600,000	-1,304,500	1,904,500	
	シンポジウム開催費	0	-350,359	350,359	
	研究部会費	300,000	200,000	100,000	
	若手研究助成費	800,000	800,000	0	
	記念事業費	850,000	850,000	0	
	常設委員会費	1,250,000	1,064,315	185,685	
		研究活動委員会	300,000	244,315	55,685
		広報ネットワーク委員会	800,000	800,000	0
		表彰委員会	150,000	20,000	130,000
	支部助成費	205,000	125,000	80,000	
		関東支部	30,000	0	30,000
		中部支部	25,000	0	25,000
		関西支部	50,000	30,000	20,000
		中国四国支部	50,000	45,000	5,000
		九州沖縄支部	50,000	50,000	0
	支部助成予備費	300,000	300,000	0	
	関連学会費	150,000	80,000	70,000	
	事業費合計	5,505,000	2,056,964	3,448,036	
2 管理費					
	会議費	20,000	20,000	0	
	旅費交通費	150,000	150,000	0	
	通信費	50,000	11,293	38,707	
	消耗品費	10,000	9,266	734	
	業務委託費	1,850,000	75,709	1,774,291	
		編集作業委託	300,000	40,400	259,600
		事務作業委託	1,300,000	8,050	1,291,950
		経理作業委託	250,000	27,259	222,741
	支払手数料	25,000	4,414	20,586	
	選挙費用	0	-346,500	346,500	
	法人税・租税公課等	70,000	0	70,000	
	新聞図書費	10,000	1,617	8,383	
	管理費合計	2,185,000	-74,201	2,259,201	
当期支出合計		7,690,000	1,982,763	5,707,237	
		2023年度予算	増減金額	2022年度決算	
当期収支差額		-3,000,000	-2,544,528	-455,472	
前期繰越収支差額		20,404,806	10,382	20,394,424	
当期特別会計繰入		0	-465,854	465,854	
次期繰越収支差額		17,404,806	-3,000,000	20,404,806	